

学内広報誌

じんげん asile

pp.2-3 助教×大学院生×学部生

学びと交流を活性化する 総合研究室の役割

春夏号
2025
大谷大学広報誌

学内広報誌

じんげん asile

pp.14-15 キャリアガイド

先輩学生・卒業生からのメッセージ

Column

時代をみつめる

情報リテラシー必携社会

我々が接するメディアは、新聞や雑誌、テレビ、ラジオといった4大メディアと評されてきたオールドメディアと、インターネットやソーシャルメディアといったニューメディアに大別されることがある。ニューメディアは特に即時性や双方向性での情報の受発信が特徴として挙げられる。そして、誰もが情報を発信できる環境下であるため、レアナ情報までもが手に入りやすく、恩恵を受けることも多い。

ニューメディアから生み出されるコンテンツは「あなたへのおススメ」として我々に興味関心のある情報を案内してくれるので便利である。しかし、その案内は利用者一人ひとりの検索履歴やクリック履歴から分析され、各人に最適化された代物なのである。我々はいつの間にか「泡」の中で窒息していることにも気が付かない有様である。また、ソーシャルメディア上では、自身と似た興味関心をもつ他者をフォローすることが多く、同志が集まりやすくなる。そして、自身の発した声は「残響室」で増幅され、非常に居心地が良い環境を作り上げてくれる。我々の敵はそこには存在しない。



文学部文学科 講師
川瀬 綾子
専門分野/図書館情報学・
学校図書館・メディア論

一方のオールドメディアは安寧の地かといえばそうでもない。湾岸戦争での「油まみれの水鳥」や「ナイラ証言」を忘れてはならない。また、最近では偏向報道に嫌気が差す人々のコメントも散見される。

ノーム・チョムスキーの「メディアとは常に誰かにコントロールされたものである」という見解を頭の片隅に置きつつ新旧メディアと対峙しなくてはならない。大量の情報が生み出され、溢れ流れ出す現代社会において、我々は常に情報リテラシーが求められる。情報リテラシーとは、数多ある情報を取捨選択し、理解し、正しく活用する能力を指す。その概念にはもちろんメディアリテラシーも包摂される。

いよいよ新学期。様々な授業や体験を通じて、情報を鵜呑みにすることなく、批判的に捉える能力を培っていきましょう。

WHAT'S

じんげんasile?

『じんげんasile』は、学生・保護者・教職員3者による話題共有を目的とした学内広報誌です。

このタイトルは、本学の象徴である源泉(じんげん)館と、中世に存在した公的な避難所を表すフランス語「asile(アジール)」から命名されました。飛び立つ力をたくわえる「asile」のような大学でありたい、という願いが込められています。

ぜひ、友人や先生、家族と、この冊子を開いてみてください。

迷入は方に依るが故に迷うも、
若し方より離るるときは、
則ち迷うことあること無し

馬鳴『大乘起信論』(大乘起信論)岩波文庫 34頁

時代を照らす仏教のことば



総合研究室の利用方法

研究交流のオープンスペースとして
すべての学生が利用できる

響流館3階に位置する総合研究室は、自身の研究分野を拠点としながら、専門分野を越えて交流する学際的な交流の場です。ワンフロアに4つのゾーンを構成し、さまざまな用途で使用できますので、ぜひ積極的に活用してください。



図書館から本を借り出し、そのまま上のフロアにある総合研究室に移動して、自身の作業に打ち込めます。効率的に学びを進めることができます。



自身の研究に集中したい時やちょっとリラックスしたいときは、一人用のソファ席がおすすめ。プライベートな学びの空間として利用できます。



各分野の助教が常駐しているので、いつでもなんでも質問できます。敷居がないオープンな環境なので、気兼ねなく助教に相談ができ、アドバイスをもらえます。

**考えることの可能性を伸ばす
その役割を果たす総合研究室**

澤野 そうですね。私は文学科ですが、哲学分野にも興味があるので、総合研究室のワークショップルームで哲学カフェに参加できたことは、いい経験となりました。

渡辺 その通りです。多くの学生が使用することで、学際的な交流の場である研究

藤永 院生同士の交流はありますが、今後はここで学部生との交流がさらに深まればいいと思います。

澤野 学生みんなが積極的に足を運べるように、定期的に総合研究室の使い方を教えてもらえるツアーやイベントがあると利用者ももっと増えるのではないですか。

室としての目的を共有して、この場所の使い方や雰囲気が醸成されていけばと思います。図書館と繋がっているという特徴を持つ総合研究室は、個人の内省的な思考から他者と交流して考えることの可能性を伸ばす場所として、ぜひ活用してほしいです。

talk about 総合研究室



さわの さき
澤野 沙紀
文学部文学科 第4学年



ふじなが じしん
藤永 樹心
博士後期課程
真宗学専攻 第2学年



わたなべ たくや
渡辺 拓也
博士(文学)
【専門分野】労働社会学



響流館3階 学びと交流を活性化する 総合研究室の役割

オープンな環境で
学際的な交流を円滑に

2024年9月にリニューアルした総合研究室。学部・学科・専攻を問わず、すべての学生が利用できる場所として、新たなスタートをきりました。総合研究室を活用している学部生と大学院生、そして研究室に常駐する助教それぞれが感じる魅力を語り合いました。

澤野 リニューアルしてから、総合研究室を利用する頻度が増えました。使用用途に応じた研究学習環境が準備されており、一人で集中して作業したい時はカウンターや一人用ソファ席、友人と課題に取り組む時は広いテーブルなど、いろいろな使い方をしています。

藤永 学部の第4学年時に卒業研究の制作で使い始め、大学院に進んでは総合研究室に在籍する時間が長くなりました。大学院生は専用の院生デスクを使用できるのですが、オープンな環境になった分、周りの顔が見え、座ったまま話し合うこともできます。息抜きをしている時間も交流になるので、さまざまな学びや気づきがあります。

渡辺 特に卒業研究の時期は人が増えて、みんなが頑張っている姿を見られます。学生同士が本気で集中している熱気を感じられるので、ぜひ第1学年の時から使用して、この雰囲気を体感してほしいですね。フロアデザインがオープンになってより相談も受けやすくなったので、助教の机まで気軽に話し

かけにきてください。

澤野 第3学年になって、卒業研究の準備もあり、使用する頻度が増えましたが、資料を探している時など助教の先生に聞いています。

藤永 馴染みがないと話しかけづらいかもしれませんが、大学院生にも気にせずいろいろ尋ねてみてください。積極的に質問すれば親身になって答えてくれますよ。

渡辺 各フロアにある格子棚の使い方がまだ定まっていないのですが、交流を活性化し、コミュニケーションを媒介するツールとして研究室ごとに有効活用できればいいのではと考えています。例えば優秀な卒業研究を展示すれば、理解も深まりますし、書く方も刺激されますから。

藤永 他大学の人を招いたり、イベントを開催



仏教写本研究



所蔵：大谷大学図書館

パーリ語^{ばいりう}貝葉写本の研究を中心として、貝葉写本の保存、整理、情報収集およびネットワーク構築などを研究課題として取り組んでおり、2020年度より写本の総合的な情報収集を目指して、ハイデルベルク大学(ドイツ)、インド、タイの研究機関と共同研究を続けています。



大谷大学には仏教に関する数多くの写本が所蔵されています。その中でも、パーリ語という古代インドの言語で、加工したヤシの葉に、鉄筆で文字を刻んだ写本(貝葉写本)群が研究者の注目を集めています！

大谷大学の国際研究

真宗総合研究所は、真宗あるいは仏教の立場から諸学問を総合すること、
仏教を通じた国際的な学術交流を推進しています。

各学部・学科の教員がプロジェクトごとに集まって共同研究に取り組んでおり、
浄土真宗を基盤とする本学の教育・研究を明確な形で具体化する目的をもっています。
今回は、二つの研究班をご紹介します！

詳しくは
こちら！



東アジア・北アジア仏教研究



国際社会に対して本学の真宗・仏教研究を発信していくために、東アジア・北アジアにおいて本学が学術協定を締結している諸機関との共同研究ネットワークを強化し、本学が研究のハブとなってアジア仏教の研究を推進することを目的としています。



2024年度、モンゴル学の発展や両大学間の協力関係拡大への貢献が評価され、社会学部コミュニティデザイン学科の松川節先生がモンゴル国立大学科学学部から「名誉博士」の称号を授与されました。

総合研究室の活用例

Example 1: シネマ勉強会

哲学的なテーマ・問題について、映画を通じて考えることを趣旨としています。映画作品で何がどう撮られているのか、そこから何が読み取れるのかを検討するだけでなく、素朴な感想や疑問なども共有合っています。

哲学や映画に関心のある学生はもちろんですが、専門知識を前提にはしていないため、多様な「見方」があることを学べる場になっています。さまざまな学科のさまざまな関心を持った人にご参加いただければと考えています。

【担当】哲学科助教 平田 公威



Example 2: 読書会

文学を通して多くの人と交流を持ちたいと思ったことがきっかけです。総合研究室の存在を知り、企画を形にするために動き出しました。自分とは異なる視点の意見が得られることがやりがいです。いずれは文学作品を読みたいですが、今はこの活動を広く知ってもらうため、身近な本や『ドラえもん』の漫画も扱います。身近な作品のワンシーンをいろいろな視点で見たり、文学作品の背景を皆さんと共に共有したいです。学科・学年を問わず、また先生方もぜひご参加ください！

【担当】文学部文学科第2学年 坂本 敬太



Example 3: 令集解勉強会

日本と中国の法制および漢文訓読の勉強のため開催しています。現在は助教と仏教文化専攻の大学院生が中心となり開催しています。漢文の知識が必要にはなりますが、興味のある方はぜひ参加いただきたいです。特に日本と中国の法制史の比較は興味深く、多岐にわたる幅広い知識の習得にも役立ちます。

【担当】歴史学科助教 増成 一倫、宗 周太郎



Topics 大谷大学学生会「大谷サンドwhichプロジェクト」

学生・教職員対象大試食会を開催しました！

11月25日(月)～27日(水)に、本学学生及び教職員を対象とした試食会を開催しました。OTNサンド・いちご大福サンド・抹茶きなこもちサンドの3種類の試作品を提供し、大変盛況になりました。今後は、この試食会で回収したアンケートでいただいたご意見を参考に、試作品の改良を進め、2025年5月までには、最終試作品を数種類制作の上、再び全学生・教職員対象の試食会及び完成品の決選投票を実施予定です。今後のプロジェクトの活動については、随時大学ウェブサイトや大学SNSでも公開予定です。ぜひともご期待ください。



2025年度前期博物館開館予定

※詳細は本学ホームページをご覧ください。

春季企画展

2025年4月1日(火)～5月10日(土)
大谷大学のあゆみ
歴代学長の肖像

夏季企画展

2025年6月3日(火)～8月3日(日)
念仏申さるべしー戦国社会と真宗ー

秋季企画展

2025年9月6日(土)～9月27日(土)
大谷大学の逸品 実習生展併催

クラブやサークルに
入りたい新入生必見！ 2025年度新入生歓迎イベント 若葉祭

2025年4月5日(土)開催予定！

新入生の皆さんに4月から充実した学生生活を送ってほしいという願いを込めて、4月5日(土)に新入生歓迎実行委員会が若葉祭を企画しています。
若葉祭では課外活動団体のパフォーマンスや活動紹介を行い、教室にて課外活動団体の展示・勧誘ブースなどの企画を実施する予定です。ぜひご参加ください。

※企画は変更・中止となる場合がありますので予めご了承ください。

GLOBAL SQUARE×茶道部
「日本文化を感じる
茶の湯体験しませんか？」開催

今回は茶道部とのコラボで、茶の湯体験を開催。茶道部員から裏千家の作法などのレクチャーを受け、実際に茶筌を使って抹茶を立てるなど、留学生と一緒に日本文化を体験しました。

本学学生が全日本中国語
スピーチコンテスト
京都大会に出場

京都府日本中国友好協会が主催する「第42回全日本中国語スピーチコンテスト 第4回京都府大会」が10月27日(日)に開催され、本学から5名の学生が出場し、第2位入賞・奨励賞を受賞しました。

キャリアUPセミナー
「図書館のヒーローに聞いちゃおう！
司書の仕事の魅力とは」を開催

図書館司書の資格取得を目指している学生や将来図書館で働いてみたい学生29名に向けて、本学卒業生の草津市立南草津図書館の大西協子副館長にお越しいただき、お仕事内容やその魅力をお話いただきました。

インド共和国の学術交流協定校に
本学独自の学び
「人間学」を開講

インド共和国のカリンガ社会科学大学との包括協定に基づき、本学独自の学び「人間学」に関する講義をオンライン形式で開講。受講者35名に対し、協定校のニーズに合わせて全12回の授業を本学教員が担当しました。

「第20回 京都から発信する
政策研究交流大会」で
社会学部のチームが分科会優秀賞を受賞

「第20回 京都から発信する政策研究交流大会」(主催:公益財団法人 大学コンソーシアム京都)において、本学から参加した野村実ゼミMM(モビリティマネジメント)チームが分科会優秀賞を受賞しました。

高校生・中学生対象
「第12回 大谷大学文藝コンテスト」
受賞作品決定

7月から応募受付を行っていた「大谷大学文藝コンテスト」の受賞作品が決定しました。全国から計3,323作品の応募がありました。

受賞作品一覧はこちら



SNSでも大学の動きをチェックしよう！

大学Webサイトでも
最新情報を更新中！



Instagram



otani_univ

X(旧Twitter)



@otaniuniv_staff

Facebook



@otaniuniversity

YouTube



otaniuniversity

※学年は大会時のものです

Club Information
2024年度秋季大会結果(2025.2.1時点)

柔道部
●京都学生柔道段別体重別選手権大会
男子68回 女子39回
男子段外の部 優勝
土方一志(文学部 歴史学科 第1学年)

硬式野球部
●2024年度 京滋大学野球連盟
秋季リーグ戦
II部1位
●2024年度 京滋大学野球連盟
秋季リーグ入替戦
II部残留

サッカー部
●2024年度 第102回
関西学生サッカーリーグ(後期)
4部Bリーグ6位(4部残留)
優秀選手賞(GK)
河合大輝(文学部 歴史学科 第4学年)

バスケットボール部
●2024年度 関西学生
バスケットボール4部リーグ戦
4部Cブロック5位(4部残留)
●2024年度 関西学生
バスケットボールリーグ戦
4部Bブロック9位(4部残留)

バレーボール部
●2024年度 関西大学
バレーボール連盟男子秋季リーグ戦
7部3位(7部残留)

バドミントン部
●令和6年度 関西学生
バドミントン秋季リーグ戦
男子 3部4位(3部残留)
女子 3部7位(3部残留)

5 講堂棟

入学式・卒業式やさまざまな宗教行事が行われる講堂のほか、地下1階には学内食堂があります。



6 体育館

アリーナや剣道部、卓球部、空手道部が使用する練習室のほか、トレーニングマシンなどの設備が整ったトレーニングルームがあります。

7 8 4・5号館

主に教職課程に関する授業が行われます。実際の学校や保育現場の様子がイメージしやすい模擬授業教室・多目的ルームや音楽室・図工室・理科室・ピアノレッスン室などがあります。4号館1階には授業で使用する教材・教具や教科書、指導書が揃う資料室を備えた教職支援センターがあり、教員を志す学生の支援を行っています。



1F 教職支援センター

窓口で履修相談が受けられるほか、学校ボランティアや教育実習、教員採用試験の相談などによってくれる頼れる教職アドバイザーが常駐しています。教員を目指す人はぜひ利用してください。

4 博綜館

1階には保健室・学生相談室・人権センター、2～5階には、教員の個人研究室があります。



1 尋源館

(国・登録有形文化財)

1913年に竣工され、2023年に110周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴の本学のシンボルです。2階の尋源講堂では、朝の勤行などが行われています。



2 2号館

仏教教育センターや幼児教育関連の実習室があります。



3 慶間館

1階中央の学生ロビー「ミナイル・プラザ」の周りには、学生支援部窓口、学習支援室、文藝塾、語学学習支援室などさまざまな学習支援施設を配置しています。3階には情報系教室、4・5階には教員の個人研究室もあります。

PICK UP! アクティブラーニングスペース



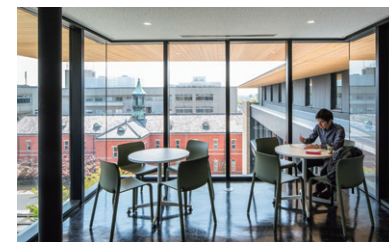
5F コモンスペース

[大型モニター・ホワイトボード完備]
モニターを使ったディスカッションやグループワークが可能なアクティブラーニングスペースです。



2F/4F サブゼミスペース

[プロジェクタ・ホワイトボード完備]
だれもがここで行われるプレゼンテーションやイベントに参加できるようなオープンスペースです。



2F～5F マルチスペース

各フロア3カ所に設けられており、尋源館を望める場所。自主学習やグループワークなどに活用できます。

9 響流館

図書館、博物館、総合研究室、真宗総合研究所、メディアホールなど、さまざまな教育・研究効果を高める施設を配置しています。
また、学内食堂付近には、学内コンビニ、学内書店があります。

1F 博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学などの分野の、貴重な典籍や民俗資料など約12,000件を所蔵し、そのうち10件が国の重要文化財に指定されています。定期的に企画展や特別展を開催しています。



B2F～2F 図書館

蔵書数は約90万冊、1・2階の閲覧室には約15万冊の図書や資料が設置されています。2階のカウンターではノートパソコンの貸出も行っているため、レポート作成や情報収集に活用することができます。



1F 地域連携室 (コミュ・ラボ)

大学や学生が取り組む地域連携活動を支援しています。地域連携アドバイザーがプロジェクトの運営などについてアドバイスや情報提供しているほか、学生のワークショップなどにも活用されています。



3F 総合研究室

学術図書の分野ごとに4つの研究室があり、学生は全ての研究室を利用できます。研究に必要な図書閲覧、ノートパソコンの貸出のほか、グループワークや各研究室に常駐する助教への研究の相談もできます。



2024年9月に
リニューアルオープン
しました!



1F 文藝塾

プロの技術を学び、文章力を鍛える“道場”で、「書く力」を養うための場です。文藝を通じた交流サロンとして、ガラス張りのスペースには、さまざまな学生が集います。



1F 学習支援室 (LEARNING SQUARE)

基礎学力向上のための、サポートスペースです。アドバイザーから外国語やレポートの作成方法について個別指導が受けられます。



1F 語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)

海外留学や外国語習得、海外の文化に関心のある学生や、外国人留学生が集う場所です。外国語学習の機会や交流会の開催、留学希望者へのサポートなど、きめ細かく支援します。

キャンパスライフを充実させる
課外活動団体一覧

72 団体

委員会・総部	社会総部 10 団体
中央執行委員会	仏教青年会
新入生歓迎実行委員会	伝道部
学園祭実行委員会	児童教化研究会
文化総部(役員・幹部)	スカウト部
体育会(役員・幹部)	児童文化研究会
社会総部(役員・幹部)	ユースホステル旅行研究会
音楽総部(役員・幹部)	自然愛好会
	点字・点訳サークル
	探検会
	ボランティア研究会
文化総部 16 団体	音楽総部 10 団体
華道部	尺八部
茶道部	男声合唱団
能楽部	軽音楽部
E. S. S.	箏曲部
写真部	ギター部
映画研究部	混声合唱団
美術部	アメリカ民謡研究部
書道部	吹奏楽団
大谷文芸	フォーク研究会
歴史学研究会	ジャズ研究会
古美術研究会	
落語研究会	
民俗学研究会	
漫画研究部	
演劇部	
京都文化研究会	
体育会 15 団体	同好会 12 団体
卓球部	ワンダーフォーゲル同好会
柔道部	飛行研究会
空手道部	ダンス同好会
硬式野球部	SF研究会
サッカー部	TRPG同好会
弓道部	自動二輪同好会
陸上競技部	推理小説研究会
剣道部	聲明研究会
バスケットボール部	大谷弦楽アンサンブル
スキー競技部	手芸サークル
ソフトテニス部	水泳同好会
バレーボール部	スポーツチャンバラ同好会
バドミントン部	
跆拳道部	
アメリカンフットボール部	

吹奏楽団

年に数回学内で行うミニコンサート、他大学との合同演奏会、定期演奏会に向けて、週3回練習・合奏をしています。団員の仲が良くアットホームな雰囲気が魅力で、自分達のペースで吹奏楽を楽しめます。大学吹奏楽連盟に所属しているため、所属大学から約200名が集まる合同演奏会(年2回開催)に参加することで、他大学の友達がたくさんできます。音楽を楽しむことをモットーに定期演奏会に向けて活動中！私たちと一緒に吹奏楽をやりませんか？初心者の方も大歓迎です♪



中央執行委員会

大学へ所属しているクラブやサークル、委員会の活動がスムーズに行えるよう、中央執行委員会がサポートできることを目標に日々活動しています。学生大会の運営方針の決定や資料・アンケート作り、部室棟内のごみ回収の日程決めなどを行うため、主な活動は部室での週1〜2回のミーティングを行っています。その他にも、各クラブ・委員会の活動に関わる事務的な作業がメインの活動です。現在は「大谷サンドwhichプロジェクト」も推進しています。メンバー全員が同じ目標をもち活動に取り組んでいるので、やり遂げた後の達成感を一緒に共有できることがやりがいになります！



スポーツチャンバラ同好会

週2日で刀や楯を使い、基礎的な練習から実践的な練習まで幅広く活動しています。サークルとしての目標は大会で1つでも多く勝ち進み、12月にある全国学生大会に出場することです。和気あいあいと活動する時と練習する時のメリハリを心掛けて、日々の活動に励んでいます。スポーツチャンバラは、誰でも簡単に始められるスポーツで、柔らかい安全な道具を使って気軽に楽しめるスポーツです。経験や体力は必要なく、未経験者も大歓迎です！運動が好きな人、大学で新しい活動に挑戦したい人は、ぜひ一度体験に来てみてください！



空手道部

全国大会に形と組手で出場することを目標に掲げ、日々、稽古(基本、形、組手)に取り組んでいます。空手道部は、師範や指導者の方々から温かい指導をいただきながら、部員の仲間とともに日々鍛錬に励む中で、技術の習得のみならず、人間としての成長を得られるクラブです。また大学の友人や先生方から応援いただくなど、ここできが得られない周りのサポートを感じながら、充実した学生生活を送ることができます。ぜひ、僕たちと一緒にかけがえのない青春の日々を作っていきましょう！



好きなこと、新しい可能性にとことん夢中になってみよう！

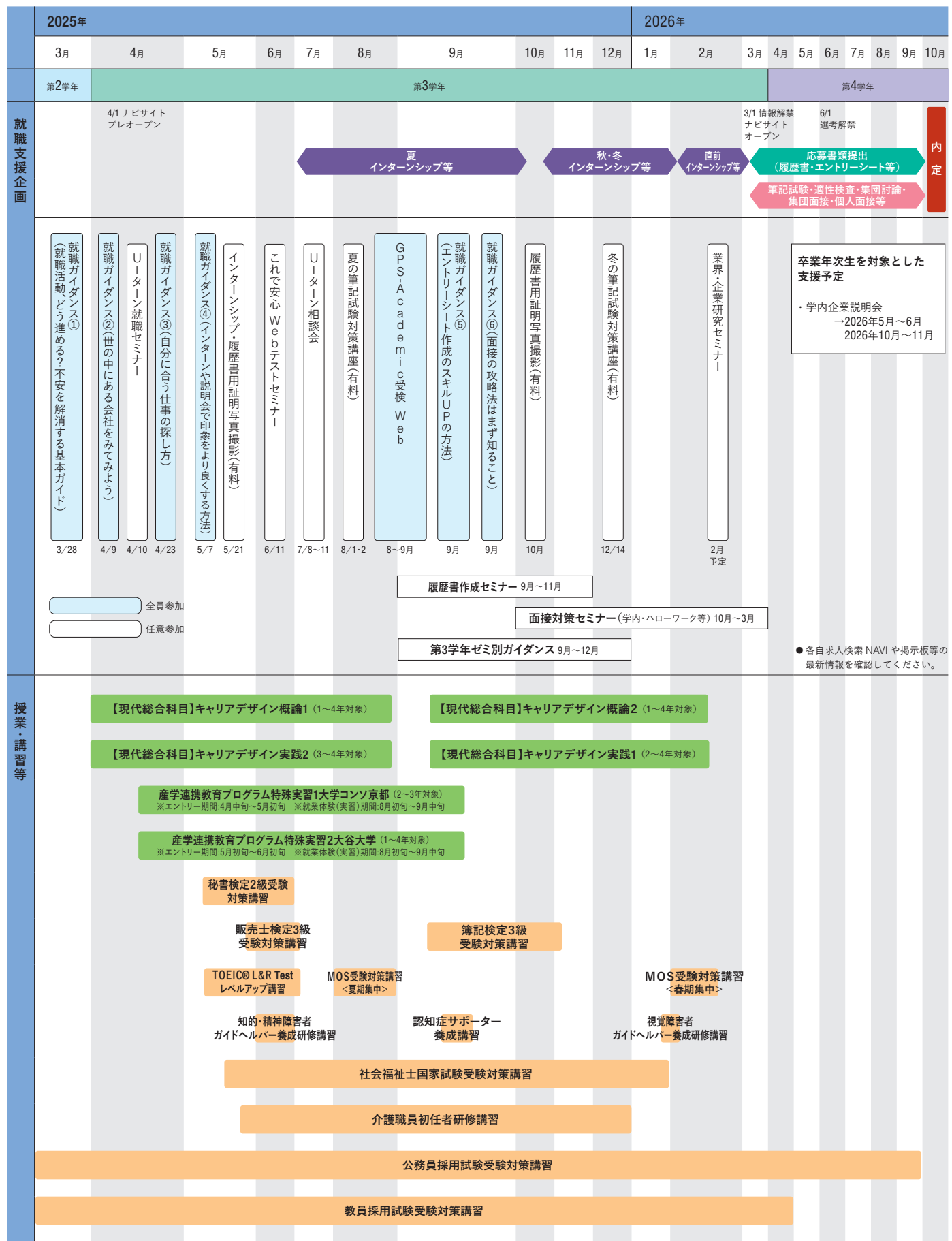


児童文化研究会

イベントでの出演などの依頼に向けて、人形劇やパネルシアターの練習に日々取り組んでいます。イベントでは実際にたくさん子どもたちと遊ぶことができるのも魅力のひとつ。依頼をしてくれた学童施設の子どもたちから、後日お礼のメッセージカードをたくさんいただいた時は、とても嬉しくやりがいを感じました。より多くの依頼に応えられるようになることが目標です。子どもに関わる教育学部の方はもちろん、そのほかの学部の方でもボランティア経験として役に立ちます！子どもと関わることが好きな方はぜひ児童文化研究会へ！



2025年度～2026年度キャリア支援企画（2027年3月卒業・修了予定者）※日程・企画は変更することがあります。



進路が決定した先輩の声を聞いてみよう 次ページへ

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。 キャリアガイド

キャリアセンターについて

卒業後の進路は、就職、進学、留学など様々です。キャリアセンターは、皆さんがキャリアデザインを描き、実現できるように、学年ごとにガイダンスなどを開催しますので、参加してください。また、資格取得に向けた講習や、教員・公務員採用試験対策講習を開講しています。将来の進路について、わからないこと、不安なことがあればキャリアセンターを利用してください。

「求人検索NAVI」について

「求人検索NAVI」を運用し、企業・事業所などから大学に届いた求人情報を公開しています。また、キャリアセンターからのお知らせ(ガイダンスや各種講習、インターンシップやUターイン就職情報など)を閲覧できるほか、第3・4学年の学生はアドバイザー面談や模擬面接セミナーなどの予約もできます。

Uターイン就職を希望する皆さんへ

地元での就職や、出身地以外での就職を希望する学生を対象に、自治体の担当者や直接相談ができるUターイン相談会を7月に開催します。全学年対象で、就職やインターンシップなどに関する情報収集の仕方、交通費補助・奨学金返還支援制度など、様々な相談ができます。

2024年度の就職活動を振り返って

例年同様、2月下旬に3日間、学内に企業・事業所94社を招いて開催した「業界・企業研究セミナー」に参加した学生は、採用担当者から直接説明を聞くことがで

きました。そして、3月1日の広報開始により、大規模な合同企業説明会や個別の会社説明会、採用試験が実施されました。企業・事業所は、学生の意欲やコミュニケーション能力、ストレス耐性、マナーがあるかなどをもとに、共に働く仲間としてふさわしいかを判断しているそうです。なお、就職活動を円滑に進めることができたのは、インターンシップなどに参加した学生、早期にエントリーシートを提出した学生、先述の「業界・企業研究セミナー」に参加した学生で、5月の連休明けには内定を得ることができました。一方、履歴書作成セミナーなどに不参加で準備が遅れた学生と多くの単位を残して時間調整ができなかった学生は、就職活動が長期化しました。

キャリアセンターでは、前期は5月から6月、後期は10月から11月に、1日2・3社の企業・事業所を学内に招いて企業説明会を開催しました。12月以降は、卒業に向けての学業の状況を確認しながら支援を行い、あきらめずに就職活動をした学生は、内定を得ることができました。

2025年度の就職活動について

2024年度内定状況などの最終報告は、『じんげん as i i e 2025年秋・冬号』に掲載する予定です。

2026年3月卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する日程は、従来通りですが、企業・事業所は、第3学年の夏期休暇中にインターンシップ(就業体験)やオープンカンパニー(職場見学・会社説明会)などを開催し、早期に学生と接する機会を増やしました。しかし、これから選考本番という企業・事業所もあるため、キャリアセンターでは、引き続き、アドバ

イザーとの個人面談(履歴書作成や模擬面接)でサポートします。また、「大谷大学の学生を採用したい」と意欲のある企業を学内に招いての企業説明会などが開催決定となれば、求人検索NAVIでお知らせしますので、参加してください。

第3学年の皆さんへ

就職、大学院進学など、希望進路を決めて準備をしてください。その一環として、8・9月に実施するGPS Academic(問題解決能力を確認するアセスメントテスト。入学時にも受検)を受検してください。入学時からの自分の成長を確認できるだけでなく、就職活動につなげることもできます。

インターンシップなどに参加することは、就職活動を一歩前進させることになります。夏期休暇中に企業・事業所が開催するインターンシップなどに参加するためのガイダンスを前期に開催します。なお、企業・事業所は、Web上での説明会や採用試験を実施するため、パソコンやスマートフォンなどの通信機器に加え、WebカメラやWi-Fi環境を整えることが必要です。ただし、最終面接は対面での実施が多いため、Webと対面、両方の対策をしなければなりません。後期には、就職活動本番に向けた履歴書作成や面接対策のセミナーを実施します。

なお、大学院進学については、受験対策として、まずは指導教員に相談してください。

第2学年の皆さんへ

詳細は、次ページのキャリア支援企画で確認してください。

視野を広げることや職業観を身につける

ることに取り組んでください。例えば、資格取得です。取得した資格は、就職活動の履歴書でアピールすることができます。キャリアセンターでは、資格取得に向けた講習や教員・公務員採用試験対策講習を開講しています。また、第2学年でも企業・事業所を知る企画(オープンカンパニーなど)があります。興味がある学生は、キャリアセンターに相談してください。

新入生の皆さんへ

「読む」「書く」「聴く」「話す」「考える」力は、社会人に必要な力です。所属する学科の学びを積極的を受講し、身につけてください。

また、GPS Academicの受験結果を参考に、自分を高めることを目標にしたり、資格取得(『2025年度キャリア支援案内』参照)にも挑戦してください。わからないことがあれば、キャリアセンターに来てください。

大学院の皆さんへ

就職や進学について質問や相談があれば、キャリアセンターに来てください。アドバイザーとの面談を通して、進路の方向性を見出し、企業・事業所から内定を得た先輩もいます。



「先輩が話す 大谷大学の就職活動ってどんな感じ?」
2024年12月開催



先輩学生・卒業生からの メッセージ

晴れて内定が決まった学生3名と卒業生2名に直撃インタビュー!
それぞれの大学生活や就職活動について話を聞いてみました!!



就職先

**株式会社フジドリーム
エアラインズ**

岡崎 七虹

文学部 国際文化学科 2024年度卒業

**憧れの航空会社をめざし語学力を高め
自己分析を深めました**

幼い頃から憧れていた航空業界に絞って就職活動を進めました。大学で1年間カナダに留学した経験やテーマパークのアルバイトを通して、外国語でのコミュニケーションや接客の楽しさを知ったと同時に、自身の接客が会社のイメージに直接繋がることにやりがいを感じたことから、客室乗務員という職業を選びました。

就職活動では、キャリアセンターのアドバイザーの方にエントリーシートの書き方を一から教えていただき、深く自己分析をするきっかけにもなりました。お客様の安全を第一に、自身の接遇によって空の旅を楽しんでいただけるような客室乗務員を目指して、これからも自分自身を磨いていきたいと思います。

就職先

郡上市役所

八木 顕太郎

社会学部 コミュニティデザイン学科 2024年度卒業

**観光資源を生かして地元を
盛り上げ、暮らしやすい
まちづくりに尽力したい**

中学生のときに産業振興公社で職場体験をして、「郡上おどり」などの観光資源や地元産業を盛り上げる仕事に携われたら楽しそうだしやりがいがあるなと興味を覚えました。

郡上市の一次試験が従来の教養試験から職務能力試験に変更と発表があつてすぐ、試験・面接対策に取り組みました。キャリアセンターで履歴書や面接シートの書き方を丁寧に教わり、とてもありがたかったです。こころの支えになったのは、両親や周りの人たちに背中を押され、高校も同じ杉本さんと励まし合えたこと。困りごとを抱えている市民を親身になってサポートするなど、お世話になった人たちに恩返ししながら暮らしやすいまちづくりに尽力したいです。

就職先

郡上市役所

杉本 達哉

文学部 哲学科 2024年度卒業

**地元の魅力と地域課題を
理解“伝える力”を磨いて
面接本番へ**

郡上市の豊かな自然と人の温かさに囲まれて育ちました。社会人になったら、支えてくれた人たちの力になりたい、地域に幅広く貢献したい、そして自身の長所である協調性を生かせると思ったことが、地方公務員を志望した理由です。

キャリアセンターの履歴書添削など、大学の手厚いサポートを活用。面接練習では、自分のアピールしたいことを相手にどう伝えるべきかとことん話し合って仕上げ、自信をもって本番に臨めました。他市出身の志願者よりもアドバンテージを得られたのは、地元の魅力だけでなく、過疎化など地域課題の両側面を理解し、改善策や観光資源の磨き上げを具体的に提案できたことからだと感じています。

**歴史や文化を未来に繋いでいくため、
観光の力で地域に貢献していく**

歴史の中で特に幕末に興味を持ち、幕末の舞台の中心であった京都で学びたいと強く感じました。大谷大学には古文書解読などの史料を直接読み取る力が磨けること、そのうえで歴史の学習、調査にあたることができると感じ進学。在学中は「歴史や文化など人の営みは残そうとしなければ消えてしまう。知られなければ埋もれてしまう」ということを、講義を通してより強く感じました。また学生生活を通じ、自身の意思をしっかりと持つこと、そして相手に伝えるために行動する力をつけることができたと思います。

観光業はその土地を訪れた人々に未来に繋いでいくべき歴史や文化を伝える力を持つ仕事だと思い、沖縄JTB株式会社に入社しました。現在は仕入販売部にて、事業パートナーである沖縄の宿泊施設への営業に携わっています。地域の宿泊施設の販売を伸ばしていくために、販売促進力、知識力の向上に努めています。今後は、身につけたスキルと経験、さらには大学での学びを糧にし、観光の力で歴史や文化の継承と地域の活性化に貢献していきたいです。



就職先

沖縄JTB株式会社

田中 楓

文学部 歴史学科 2022年度卒業

**大学時代に磨かれた言語化能力を生かし、
話をしっかり聞くことを心がける**

人の話を聞くことが好きで、福祉に関して興味を持っていました。福祉に精通した先生が多く、少人数制で深く学ぶことができると高校の先生からアドバイスされ、大谷大学のコミュニティデザイン学科に進学しました。元々、人の話を聞くことは好きなのですが、自分から発言することは得意ではありませんでした。大学では自分の意見を発表する機会が多く、言語化能力が磨かれ、対人関係について成長ができたと思います。中野ゼミで学び、『外国人労働者の子どもの教育をめぐる問題』をテーマに卒業論文に取り組みました。

就職活動では、キャリアセンターの方から滋賀県が福祉に關する歴史が深いことを伺い、児童相談所での仕事を志望しました。今の仕事は、療育手帳の面接を担当。保護者の話をしっかり聞くことと、抜かりなく記録に残すことを特に心がけています。業務では、部署内でのほうれんそう（「報告」「連絡」「相談」）を徹底し、細かく共有することの大切さを実感しています。現状に満足することなく、常に向上心を持って仕事に取り組んでいきたいと思っています。

就職先

滋賀県彦根子ども家庭相談センター

上野 翔悟

社会学部 コミュニティデザイン学科 2023年度卒業

2024年度大谷大学教育後援会文芸奨励賞のテーマは「乗りこえる」です。

誰もがとても乗りこえられないと思われるような大きな壁にぶつかる時が人生において何度か起こると思います。

2024年1月1日に起こった能登半島地震では、大切な人を失い、住む家を失い、深い苦悩を抱えて生きるのがたくさんおられます。9月の豪雨災害が追い打ちをかけ、地震の災害から復興のために頑張ってきた人たちの心が折れていると言われます。

それでも10月に行った能登の地区では、夜は仮設住宅に泊まり、昼は自宅のある地へ赴き、ボランティアの方々と共に泥を掻き出し、いつか地元へ帰れる日のために懸命に生きておられました。

学生の皆様も、心が折れることも、挫折することもあることでしょう。しかし、それが懸命に乗りこえようとされていることを応募作品から知ることができました。

今回は192作品の応募がありました。受賞されました皆様、誠におめでとうございます。

今回の選定は、お二人の先生と私で話し合って選定させていただきました。たくさん素晴らしい作品がありましたので、もしも他の方が選定されていたら、また違う結果になったかもしれません。

受賞の有無のみでなく、これから問い続け、学び続け、自分で考えて、自分の言葉にしてみるものの大切さを知る機会となったならば、とても嬉しいことです。

応募いただきました学生の皆様、誠にありがとうございました。

大谷大学教育後援会 会長 岡田克也

人事情報

執行部の交代

「教育学生支援担当副学長 兼文学部長」
藤元 雅文

「研究国際交流担当副学長」
鈴木 寿志

「社会学部長」
赤澤 清孝

「国際学部長」
アマ ミチヒロ

2025年4月1日付(各通)

館長等の交代

「博物館長」
松川 節

「実宗総合研究所長」
鈴木 寿志

「人権センター長」
志藤 修史

「再任」
2025年4月1日付(各通)

定年退職

「教育職員」
乾 源俊(教授/文学部)

井上 尚実(教授/文学部)

江森 英世(教授/教育学部)

國賀 由美子(教授/文学部)

宮崎 健司(教授/文学部)

脇中 洋(教授/社会学部)

2025年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

「教育職員」
大関 綾(任期制助教/文学部)

平田 公威(任期制助教/文学部)

古川 拓磨(任期制助教/国際学部)

増成 一倫(任期制助教/文学部)

松岡 淳爾(任期制助教/文学部)

最優秀賞

文学部 真宗学科 第1学年
細川 興(ホソカワ コウ)

逃がたつていい。
眼を逸らさなければ
悩み、考え続けたら。
その距離が乗りこえるための
助走になるから。

優秀賞

文学部 真宗学科 第3学年
今井 亮裕(イマイ リョウスケ)

乗りこえるってどんなこと？
世界を創りかえること？
いいや、きつそうじゃない
自分を見つめなおすこと！

国際学部 国際文化学科 第2学年
藤原 綺奈(フジワラ アヤナ)

いままで私はたくさんの手を借りてきた。
これからも多くの手を借りて乗りこえていく。

佳作

大学院 修士課程 人文学研究科 第2学年
藤山 亜弓(フジヤマ アユミ)

異なる「当たり前」と対立し
自分のありようが揺れ動く
その違和感を拒まずに
己の正義を越えてゆけ

文学部 真宗学科 第3学年

横山 慧秀(ヨコヤマ ケイシュウ)

地震で打撃を受けた自坊
地元から立ち去る人の姿
抱えている不安は多い
だが私は前に進む
未来のために

文学部 歴史学科 第3学年

西森 真喜(ニシモリ マサキ)

誰もが、あの日を後悔する。
戻らない時間に囚われる。
今を変えることだけが、あの日を私に超えさせる。

国際学部 国際文化学科 第3学年

林 杏果(ハヤシ モモカ)

乗りこえるとは、逆境からの回復力ではなく、
過去の自分を抱えて共に歩むことである。

文学部 文学部 第2学年

岡田 遊快(オカダ ユカイ)

助走したほうが、
高く跳べる。
乗りこえるために、
今は勢いをつける時間。

文学部 真宗学科 第1学年

田原 大智(タハラ ダイチ)

もう会えないあなたを想って
何度涙を流しただろう
もう会えないあなたを想って
何度勇気を出しただろう

文学部 哲学科 第1学年

窪田 温(クワダ ノン)

めくられたカレンダーは
毎日を乗り越えた証って言えたら

文学部 文学部 第1学年

桐山 愛生(キリヤマ メイ)

姉と比べられた。
私たちは全くちがう人間なのに。
他人を気にせず個性を出して
乗りこえると心に誓った。

文学部 文学部 第1学年

平 悠斗(ヒライ ユウト)

「初めまして」
この一言で
私は友を一人得た

国際学部 国際文化学科 第1学年

近藤 愛唯(コンドウ アイミ)

一限目
眠い目こすり
乗りこえる



文芸奨励賞表彰式
2024年11月8日(金)

新規採用

「教育職員」
山本 亮介(教授/教育学部)

安部 哲哉(准教授/教育学部)

三宮 直樹(准教授/社会学部)

矢野 永吏子(准教授/教育学部)

工藤 克洋(講師/文学部)

源嶋 孝太(講師/教育学部)

鳥越 覚生(講師/文学部)

陸 穎瑤(講師/文学部)

藤原 智(任期制講師/文学部)

ベルグマン カロリーネ A.(任期制講師/国際学部)

赤阪 辰太郎(任期制助教/国際学部)

磯島 浩貴(任期制助教/文学部)

亀山 裕樹(任期制助教/社会学部)

久留島 元(任期制助教/文学部)

下村 優佳(任期制助教/文学部)

山雄 優生(任期制助教/文学部)

「事務職員」
新居 美春(総務部付)

松田 純佳(総務部付)

「事務系嘱託」
芦田 栞(教育研究支援部)

井口 愛(学生支援部)

伊勢戸 春香(企画・入試部)

今西 賀津美(企画・入試部)

内部 早紀(企画・入試部)

大藏 美弥(企画・入試部)

大畑 博嗣(教育研究支援部)

細見 美梨亜(教育研究支援部)

安井 明子(教育研究支援部)

昇格

「教授」
アマ ミチヒロ(国際学部)

井黒 忍(文学部)

四方 保仁(文学部)

徳田 剛(社会学部)

新田 智通(文学部)

「准教授」
戸次 顕彰(文学部)

本明 義樹(文学部)

2025年4月1日付(各通)

2025年度学校納付金について

学校納付金の口座振替について

本学では学校納付金を口座振替により納入いただいております。金融機関窓口での振込手続きが不要となりますので、振替口座の登録をお願いします。

学校納付金は「前期」と「後期」の2回に分けて、納入いただいております。振替日の前日までに振替通知書に記載の金額を登録口座にご入金ください。事情により期日までに納入(振替)が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを行ってください。

	前期	後期
振替日	4月28日(月)	10月14日(火)
振替通知書 発送	4月上旬	9月上旬
学費延納 手続締切	4月15日(火)	9月30日(火)

※納入期日までに納入(振替)のない場合は、学期により除籍となります。
※学費延納の手続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)の提出が必要となります。

学校納付金はこんなことに使われています。

■授業料

【授業】大学において最も重要な事業です。2021年度開設の国際学部をはじめとした複数学部体制のもとで、学びの実現に向けた授業を展開しています。

教育後援会だより

2024年度教育後援会事業について(報告)

「全国保護者懇談会」開催

2024年9月8日(日)、本学を会場に「全国保護者懇談会」を開催しました。当日は、午前と午後の2部制にて開催し、290名が出席されました。

2024年度 開催内容

学生支援説明会

*教育後援会会長(保護者代表)の開会挨拶の後、学長から、本会開催の趣旨が説明され、学生部長からは大学の現況が報告されました。また、学生支援部職員から、履修状況の確認方法や、奨学金制度など学生生活の支援体制、さらに近年の就職状況の傾向や就職活動の支援体制についての説明が行われました。

教員との個別相談

*学生の演習(ゼミ)での様子や履修状況など、学生生活のご不明な点について指導教員との個別相談が行われました。

学生支援個別相談

*単位の修得状況や奨学金手続き、就職活動などについて個別の相談が行われました。

学生によるキャンパス見学ツアー

地区別保護者懇談会(北陸・九州)開催

2024年9月に北陸地区(金沢・福井)、九州地区(福岡・長崎)の4会場において「地区別保護者懇談会」を開催しました。

地区別保護者懇談会では、教育後援会役員および本学執行部の挨拶に続き、学生支援部職員から、履修状況の確認方法や、クラブ活動・奨学金制度などの学生サポート体制について、さらに近年の就職状況の傾向や支援体制についての説明が行われました。その後の個別相談会では、学生の履修状況や就職活動状況などのデータをもとに、一人ひとりの相談に応じ、保護者からも熱心に質問する様子が見られました。

各種補助について

2024年度は、物価高によって影響を受けている学生への支援として、学内食堂で提供され

【学習支援室(LEARNING SQUARE)】リメディアル教育に主眼を置き、3名の学習支援アドバイザーが常駐し、基礎英語・日本語の読み書きを中心とした個別指導を行っています。

【文藝塾】高度な読み書き能力を身につけた学生を育成するために設置しています。「文藝塾講義」「文藝塾実践演習」などの文藝塾関連科目を中心に授業としての活用、また、課外活動や読書会等を実施しています。

【教職支援センター】履修相談や実習などの事務手続きはもとより、教職アドバイザーによる教員採用試験をはじめとした各種相談への対応、学校ボランティアの紹介、地域連携企画・運営など、教職課程に関わる支援を行っています。

【地域連携室(コミュニティラボ)】各種地域連携プロジェクトに参加する学生を対象に、さまざまな活動への支援や外部の団体との出会い・対話を通して、社会を生きるためのあらゆる力を養うための支援などを行っています。

【語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)】国際交流の拠点として留学生と日本人学生の交流機会を提供するほか、学生が主体的に留学や外国語学習に臨むことができるよう支援しています。

■施設費

本部キャンパス・湖西キャンパスの各施設の維持管理を行っています。無線LAN整備等の学習面および施設面に関する環境整備を進め、教育研究の充実をはかっています。

■大谷学会費

本学の学術研究の推進及びその成果の公開を目的として、春季公開講演会や秋季研究発表会を開催し、「大谷学報」や「大谷大学研

究」2種類の日替わりランチについて1食あたり60円の補助を行いました。また、恒常的な補助として、2024年度も課外活動団体への助成、職業適性検査実施や模擬面談指導員などの就職支援に対する助成、奨励金の給付や各種奨学金の給付・貸与が行われました。

2025年度保護者懇談会開催について(お知らせ)

2025年度は次のとおり保護者懇談会を開催する予定です。是非、ご出席ください。

なお、全国保護者懇談会は、学生指導上「履修単位通知書」の配付時期や、聴講登録修正期間等の学年暦に鑑み、決定しております。



全国保護者懇談会の様子

個別相談の様子(福井会場)

2025年度保護者懇談会

*全国保護者懇談会	9月7日(日)	大谷大学
*信越地区保護者懇談会	9月27日(土)	長野会場
	9月28日(日)	新潟会場
*中国・四国地区保護者懇談会	12月6日(土)	広島会場
	12月7日(日)	鳥取会場

※詳細につきましては、本学ホームページにてお知らせいたします。
(地区別保護者懇談会) 該当地区在住の保証人へご案内いたします。

究年報」を発行しています。

■学生会費

学生相互の自治に基づき学生生活全般の発展向上を目的として組織され学生全員が構成員となります。学生会を基盤として、各課外活動団体が組織運営されています。また、学生会員の日常生活の安定を図るための諸事業や、新入生歓迎行事、学園祭等の行事を行っています。

■教育後援会費

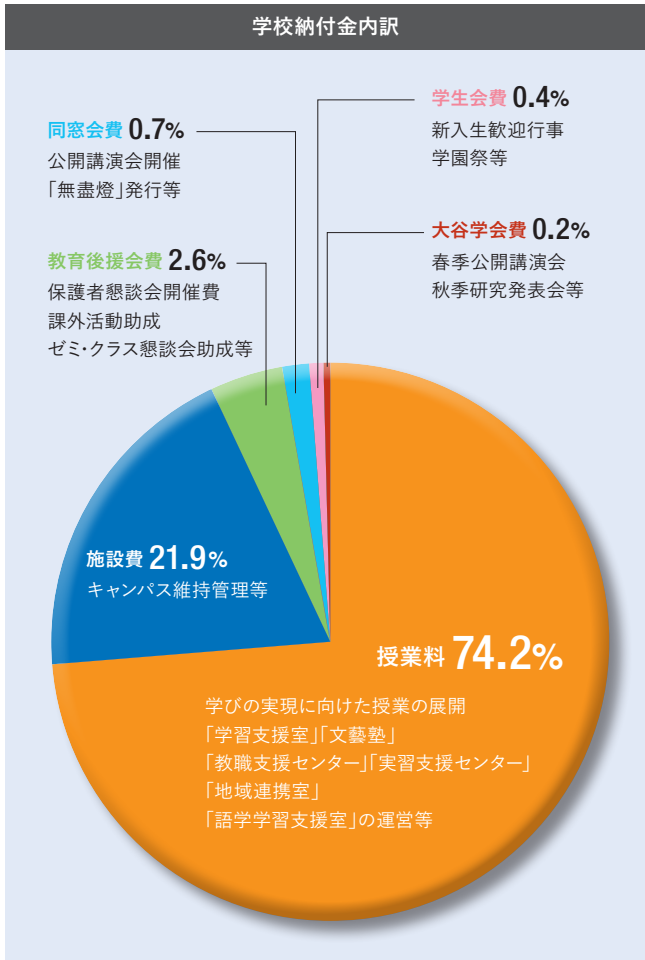
全国各地で開催される保護者懇談会などの事業経費のほか、学生会やクラブ、学園祭等の課外活動を助成しています。また、ゼミクラス懇談会への助成、学内食堂やグラウンド運営バスの助成、学生総合保障制度や賠償責任保

険の加入助成、勤労学生表彰奨学金、文芸奨励金等、さまざまな助成を行っています。

■同窓会費

同窓会費(終身会費)は、入会金とあわせて、原則として最終学年の後期に徴収しております。同窓会の運営費としています。

「大谷大学公開講演会」は、大学から講師を派遣し、同窓会の地域支部と協働して大谷大学の学術・研究を公開しています。また、同窓会ホームページや会報「無盡燈」は、タイムリーな情報を提供しています。卒業・修了ならびに同窓会入会歓迎祝賀会は、在学生が卒業・修了と同時に同窓会に入会し、卒業後も永く大学との関係を保ち、相互の関係理解を深めてもらうために、お祝いと同窓会入会歓迎を兼ねて催すものです。



教育振興資金(募金)について

2024年7月1日から2025年1月31日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。

募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。今後も引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申しあげます。

税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。寄付者個人への選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告をしてください。

教育振興資金寄付者(敬称略)

【個人】		
岩田 理恵	(三重県)	
寺本 隆人	(滋賀県)	
山田 恵文	(三重県)	
匿名 4件		
【法人】		
宗教法人 蓮泉寺 舟橋 尚哉	(愛知県)	
梶山合資会社 代表社員 梶山 融子	(東京都)	

◆件数	9件
◆寄付金総額	2,230,000円

こんな寄付方法もあります!

京都市のふるさと納税を通じたご支援

京都市にふるさと納税をする際、「寄付の使い道」として「大谷大学と協働」を選択いただくと、返礼品(※)や税制上の優遇措置に加え、寄付金の一部が、大谷大学の社会貢献活動の費用に充てられます。

※総務省の告示により、京都市内にお住いの方は、返礼品を受け取ることができません。

OTANI古本Project ―ヒロガル×ツナガル学生支援―

読み終えた本や不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を、指定会社にご送ること、本の買取価格が大谷大学への寄付となり、大谷大学が学生が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等に充てられます。

古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。



古本募金回収ボックス(図書館1階に設置)

詳しくは大谷大学ホームページをご確認ください。

大谷大学募金